

ALSO

(Advanced Life Support in Obstetrics)

プロバイダーコース

主催：長崎県病院企業団

(長崎県対馬病院、長崎県上五島病院)

公益社団法人地域医療振興協会長崎県支部

共催：国立病院機構 長崎医療センター

NPO法人周生期医療支援機構

日程：令和8年7月24日(金)～7月25日(土)

場所：国立病院機構長崎医療センター 会議室



公益社団法人

地域医療振興協会

Japan Association for Development of Community Medicine



ALSO プロバイダーコース in 長崎医療センター

Advanced Life Support in Obstetrics(ALSO)とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースです。1991年にACLSとATLSに基づいて、ウィスコンシン州の一般診療医師二人がALSOを考案したものであり、1993年にコース権利 American Academy of Family Physicians (AAFP-米国家家庭医学会)によって認可され、現在全米ではほとんどの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOの受講を義務づけられています。またALSOコースは世界的に普及活動が行われており、2009年までに、50カ国以上でプロバイダーコースが開催されています。

コースの内容は、事前にe-learningで学習していただき、受講日当日は1日目に症例検討、2日目に実地訓練のためのマネキンを使用したコースを予定しています。ALSOはLDRにおける産科の救急的対処を強調していますが、その他に出産前のリスク評価、妊娠中の合併症管理、出産危機における両親のサポート、そしてチームトレーニングといったテーマも含まれています。実技のワークステーションでは、少人数グループで、肩甲難産、胎位・胎向異常、補助経膈分娩、産後大出血の4つについて、多職種間でメンタルモデルを共有できるように、楽しく学んでいただきたいと思います。コースの最後には、筆記試験とマネキンによる実技試験(メガデリバリー)を行います。**プロバイダーコースに合格すると、受講生は3年間有効の認証を受けることができます。**受講生は**産婦人科医、プライマリケア医、研修医、救急医、助産師、看護師、そして医学部生**など対象としており、現在あるいは近未来の周産期医療体制において、分娩や産科救急に関わる可能性のあるすべての方が対象となります。産科救急医療は、産婦人科医だけではすでに成り立たない状況になりつつあることは明らかです。日本全国のすべての地域でできるかぎり同じレベルの産科医療を維持するには、**産科医療に関わりたいという志を持った人たち**をトレーニングする場を多く提供し、医療チーム体制をあらゆる医療圏に確保する必要があります。まさにその足がかりとなるトレーニングコースがALSOです。

【受講申し込み方法】

日時： 令和8年7月24日(金) 12:00~18:00 予定

令和8年7月25日(土) 8:30~17:00 予定

場所： 国立病院機構長崎医療センター会議室 参加費用： 35,000円

受講者数： 24名(公募20名)

募集期間： 令和8年4月13日(月) ~ 5月31日(日)

*長崎県病院企業団(長崎県対馬病院、長崎県上五島病院)の産婦人科医、助産師、それをサポートする長崎医療センターの産婦人科医、助産師、および今後、離島医療に従事するレジデントが対象となります。上記で定員に達しない場合には、長崎県内の医療従事者を優先に決定いたします。

*定員になり次第、募集は終了いたしますのでご了承ください。

*受講の可否は、それぞれのメールアドレスに6月10日頃までにご連絡します。

*ご不明な点がございましたら、下記お問い合わせ先にご連絡下さい。

下記リンクもしくは下のQRコードよりお申し込みください

<https://forms.gle/s12rek8vAgStbaWZA>



お問い合わせ：長崎医療センター 産婦人科 古賀 恵

TEL 0957-52-3121 MAIL megumi517@gmail.com